

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	サイクルツーリズムによる地域資源の魅力発信事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人 木曾おんたけ観光局 TEL: 0264-25-6000 / Email: info@visitkiso.com
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 (ア 特色ある観光地づくり) / (3)教育、文化の振興
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,958,473円 (うち支援金: 2,245,000円)

事業内容

1)リアルサイクリスト(競技者)等に向けた計測機器利用促進プロモーション

自転車競技者等に向けて計測機器導入型スポーツ強化合宿プラン提案し、運動パフォーマンスを可視化しデータ分析に活用及び使用できることを広く情報発信を実施した。

2)「列車 x 自転車(2次交通)Hello KISO, Slow Cycling～環境にやさしい旅のすゝめ～

デジタルスタンプラリーを設定し、自転車や徒歩で設定されたポイントを巡るイベントを開催。かつ電動アシスト自転車(E-bike)で中山道や隠れた観光スポットを巡るサイクリングツアーを開催した。



【1), 2)各事業の活動写真】

【目標・ねらい】

- ① デジタル観光コンテンツ発信
- ② 環境にやさしい着地型体験
- ③ スポーツ強化合宿誘致
- ④ 観光資源の再発掘

事業効果

1)リアルサイクリスト(競技者)等に向けた計測機器利用促進プロモーション

・自転車競技者登録団体の協力を得て「計測機器利用促進サイクリスト向けスポーツ強化合宿宿泊プラン」を直接的に広く情報拡散。with コロナ時代のイベント・レースでの使用について問合せが増えている。

2)「列車 x 自転車(2次交通)Hello KISO, Slow Cycling～環境にやさしい旅のすゝめ～

・観光用デジタルスタンプラリーをグリーンシーズンの環境にやさしいウォーキングや自転車で巡れるようにという要望があった。

・E-bike ツアーを SNS で発信したところ、木曾エリアを知らないサイクリストから電動アシスト付き自転車やスポーツ自転車向けツアー開催の問合せが増えた。

※自己評価【B】

【理由】

・デジタルスタンプラリー参加者数人数は予想を上回った。
しかし密にならない集客方法、ツアー催行方法等、デジタルスタンプラリー運営方法について一工夫必要と感じた。

今後の取り組み

- ・With コロナ時代として、密を避けて楽しめる着地体験型アクティビティとして自転車を活用し4月下旬から11月上旬までの間、観光消費需要・観光客の平準化を狙い、引き続きサイクルツーリズムの基盤構築を地域全体で段階的に進めていく。サイクルツーリズム同様、デジタルスタンプラリーについても、持続可能な観光コンテンツとし「環境負荷軽減」・「地域経済への貢献」をテーマに新たな旅のすゝめとして引き続き継続的に事業を行っていきたい。
- ・計測機器利用促進においても木曾エリアに滞在し、地形を生かしたスポーツや健康づくり楽しめるプランを様々なスポーツ団体等へ提案、アプローチを続けていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある